



緊急特集

飲んで! 食べて! 使って!
牛乳 乳製品

みえつけた
しまねのファーマーズ
竹内 和善さん
[西いわみ地区本部]

／SNSで旬な情報を投稿しています／

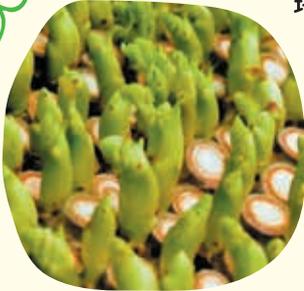




日原で始まった山菜栽培、継承と発展のために

島根県の最西部、津和野町に竹内さんのタラの芽畑があります。竹内さんは、県外の専門学校を卒業後、県内の育苗センターに12年勤務しますが、祖父の代から榊農家だったこともあり、以前から関心のあった山菜作りにチャレンジするため農しました。「祖父が残してくれた榊栽培の基盤があったから決心できた」と振り返ります。そんな竹内さんは、現在34年の歴史がある日原タラの芽生産組合の組合長も務めます。当時この辺りでは、農家の高齢化や後継者不足などの課題がありました。中山間地域の特性が活かせることや農閑期の冬栽培ができることなどからタラの芽栽培に着目し、組合を立ち上げ県内で最初にタラの芽栽培を始められたそうです。

現在、組合員は28人。U・イーターン者も加わり、組合員も若返るなど、次世代の育成にもつながっています。



駒木から成長したタラの芽

竹内 たけうち

今月は、西いわみ地区本部。津和野町でタラの芽の生産に取り組む日原タラの芽生産組合の竹内和善さんにお話を伺いました。

和善さん(43才)



タラの木栽培は雨とトゲに要注意

タラの芽作りは2月の苗の堀上から始まり。5月に苗木を畑に定植、肥料を散布します。梅雨が近づくと注意が必要です。「タラの木は、水に弱く排水性のよい圃場づくりがとて大切。近年ではゲリラ豪雨にも気を使おう」と竹内さん。タラの木



タラの木



棘に気を付けながらの作業

が冠水しないよう管理を徹底します。夏になると木には、鮮やかな緑の葉が茂ります。この時期は、芽に栄養を蓄えるため日当たりのよいところに移動させます。しかし葉にはトゲがあるため移動作業は集中力が必要です。秋にはタラの木が2メートルほどに成長。その後落葉し12月になると伐採します。幹にも鋭いトゲが無数にあり、厚手の手袋を重ねて木を運び、積み込む際にも布を巻くなど、細心の注意を払いトゲから身を守ります。

九州を中心に出荷

伐採したタラの木は、自宅の作業場で10センチほどに切り「駒木」を作ります。駒木はケースに並べ、ビニールハウスへ移します。ハウスの中には、ベンチと呼ばれる育成用の棚があり、ビニールなどで幾重にも囲いタラの芽の成長に最適な環



ケースに並べられた駒木

タラの芽ののびを確認する竹内さん



境づくりをします。この時の温度管理によって、タラの芽は約30日で出荷できるまでに成長します。1月中旬から4月まで絶え間なく出荷できるようベンチごとに育成時期をずらす工夫もしています。成長したタラの芽は、芽切り用のハサミで収穫し、50グラムでパック詰めし、県外をはじめ、J Aや産直などへ出荷しています。県外では、名古屋から九州まで出荷しており、そのうちの約50%は九州地方に出荷されています。

食農教育にも一役

地元の小中学校を通じて子どもたちに、山菜を知ってもらうための活動もしています。小学校では、毎年3月の給食に山菜を提供しています。またもつとタラの芽を知ってもらうおうと「栽培キット」の提供も考えています。自生しているものと比べ、苦みも少なく食べやすいが、子どもは苦みに敏感なので、苦みが和らぐよう、栄養土に調理を工夫してもらっています。また、タラの芽についてより理解しても



収穫したタラの芽のパック詰め

らおうと、実際に竹内さんが子ども達に栽培方法などを説明しています。ほかにも、中学校の修学旅行では、生徒が県外で地元の農産物などを知ってもらいながら販売体験を行うプログラムで、タラの芽味噌を提供したこともありました。

竹内さんは、子どもたちに地元で農業をしてもらうには、魅力をどんどん伝えていくことが大切だと話します。

気を張りすぎず、好きなことも楽しみながら

竹内さんは、マラソンや駅伝のテレビ観戦が好きとのこと。それもそのはず。中学時代から専門学校まで長距離走をされていたのです。また浜田ー益田間で行われる「しおかせ駅伝」にも町代表で走ったり、鹿児島島の指宿のマラソン大会に参加したりするほどでした。ただ今は忙しくて走れていないとのこと。他にも「ゲームやマンガも大好きで、アニメは劇場に観に行くほど。また子どもと過ごす時間が楽しい」と、満面の笑みで話します。

みんなで産地創生を。そして地産地消を。

竹内さんは、島根県の産地創生事業も活用しています。「農家、県や町、J Aみんなが一緒になって、産地をつくるのが大切」と話します。まずは地元の人に津和野が山菜の町であることを知って欲しい。そのために給食へ提供したり地元の産業と連携したりするなど積極的に取り組みたいと考えています。最近ではSNSなどを活用し山菜の美味しい食べ方の情報も発信しています。ユーチューブチャンネル「山菜万菜(さんさいばんざい)」を組合が制

プチっと情報!

タラの芽

旬を迎えるタラの芽。竹内さんオススメの食べ方は「天ぷらはもちろん美味しいけれど…グラタン!」とのこと。ユーチューブチャンネル「山菜万菜」も参考に、この機会に様々な調理方法で旬の山菜をお楽しみください😊



★購入のお問い合わせ先★
J Aしまね西いわみ地区本部
営農経済部指導販売課
電話：0856-23-1911

日原タラの芽生産組合の YouTube「山菜万菜」



作し、J Aと津和野町が協力。地元イタリア料理店のシェフに、材料、レシピを紹介してもらうなど番組内で竹内さんも出演しています。竹内さんは、新たにふきのとうの栽培にも挑戦するなど「山菜の町津和野」づくりのため、前を見据え歩み続けます。

牛乳 乳製品



回々「いのち」と向き合う酪農家

私たちが当たり前に牛乳・乳製品を飲んだり食べたりできているのは、酪農家の皆さんが毎日乳牛の健康と生活を支え、守っているから。そんな日々「いのち」と向き合う酪農家に密着しました!!



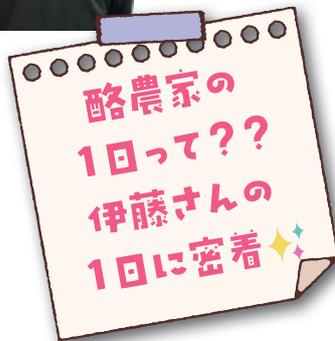
出雲市佐田町で牧場やパン屋を営む
カウベルミルクガーデン牧場株 専務 伊藤 学さん (43)

★乳牛(ホルスタイン種)170頭(育成牛70頭・経産牛100頭)を飼育
★米粉パン専門店である「牧場のパン屋さん『カウベル』」を経営するなど、6次産業も手掛ける他、仔牛とのふれあいやバター作り体験など、食農教育にも力を入れて取り組まれています。



なった「年末年始の生乳の
さまのおかげにより廃棄を
ありがとうございました。
影響は続くと予想されます。

て!使って!
「**」**です!
農・牛乳をモォ～と
します!!



AM5:00

起床



AM5:30~

牛舎に移動



エサやり



給餌車でエサを与えています。

牛舎の掃除



1頭当たりの1日の排泄量は約50kg。
清潔を保つためにも、頻繁な掃除が欠かせません。

搾乳



搾乳は機械で行っていますが、乳房の負担を減らすため、まずは人の手で絞ります。一頭一頭の状態を確認してから機械での搾乳を開始。乳量が一定量搾乳できれば自動的に外れるようシステム化しています。

仔牛に哺乳



生後10日以内の仔牛にはスタッフが直接ミルクを与えます。



~AM9:00

飲みっぷりがいいです

間の時間ではこんなことしています!



配合飼料や草、ビタミンなどを混ぜ合わせエサを作ります。



牧場のパン屋さん「カウベル」



~PM4:00

- 堆肥の配達
- エサ作り
- 子どもたちの体験活動の受入
- パン屋の運営...などやることは沢山!



PM4:00~

- エサやり
- 牛舎の掃除
- 搾乳



~PM8:00

作業終了



PM10:00

就寝



自分の方向性を見つけ出して色々な形に変化させることができること、なかなか他の業種でできない「いのちの大切さ」を伝えることができることが酪農の魅力です。
決して恵まれた土地ではない島根県で、酪農家全員が努力して美味しい生乳を絞っている、地元の牛乳を美味しく飲んでほしいです😊



*搾乳は12時間サイクルで実施。搾乳に合わせ、エサのタイミングを管理しています。

飲んで！食べて！使って！



鳥根の酪農・牛乳について モオ〜っと知ってほしい！

鳥根の酪農について

現在、鳥根県内では82戸の酪農家が活躍しています。令和2年産の生乳生産量は約7万3千トン、受託販売額が約92億円と、どちらも前年から増加。皆さんに安全・安心な牛乳を届けるため鳥根の酪農家が頑張っています🔥

牛乳について

牛乳は牛からしぼった生乳（ミルク）を加熱殺菌しただけの100%純粋な牛の乳です。だからこそ、牛の種類やエサ、季節や気温など様々な理由で味に個性が出ます。

牛乳の栄養

牛乳は生命維持のために不可欠な三大栄養素である「たんぱく質」「脂質」「炭水化物」に加え、日本人の食生活に不足しがちなカルシウムなどの「ミネラル」や「ビタミンA」「ビタミンB₂」などを豊富に含んでいます。

カルシウム

- 骨や歯をつくる
- 筋肉を動かす
- 神経細胞の働きに関与など



ビタミンA

- 視力を正常に保つ
- 成長促進や生殖・免疫機能の維持など



ビタミンB₂

- 別名「成長ビタミン」
- 舌や唇、皮膚、眼の健康に関係
- 運動能力を高めるなど



※一般社団法人JミルクHPより

そんな牛乳を使ってほしい！！

今月号のうれしび（最終ページ）では、牛乳を使ったレシピをご紹介します!! 寒い日にピッタリ! 「現代版飛鳥鍋」と、簡単に色々な味が楽しめる「ミルク餅」をご紹介します。この機会にぜひお試しください😊



ニュースなどでも話題に「大量廃棄」問題ですが、皆回避することができました。しか〜し! まだまだコロナのそこで今回の特集は

「飲んで！食べて 牛乳 乳製品

この機会に鳥根の酪農
知って、応援お願い

乳製品プレゼントキャンペーン

広報誌
読者
限定

JAしまねでは、総勢200名（広報誌企画100名、SNS企画100名^{※1}）様に当たる、乳製品プレゼントキャンペーンを実施中です。今回は広報誌の読者限定のプレゼント企画を実施！この広報誌の読者の方で、下記の方法でご応募いただいた方の中から

**抽選で100名様に、
鳥根県内乳業メーカー3社の乳製品詰め合わせ
セットをプレゼントいたします。**

●応募方法

①ハガキ・FAXでの応募

1) 氏名 2) 年齢 3) 郵便番号・住所 4) 電話番号
をご記入の上、応募先までお送りください。

②応募フォームでの応募

QRから応募フォームへアクセスし、
必要事項を入力の上、送信してください。



●応募先

〒690-0887 鳥根県松江市殿町19番地1
鳥根県農業協同組合 総務部ふれあい福祉課
「乳製品プレゼントキャンペーン」係
TEL: 0852-67-7704 FAX: 0852-67-7708
当選者発表/商品の発送をもってかえさせていただきます。
プレゼント発送時期/2022年3月中・下旬予定



※写真は
イメージです



応募期間/2022年
2月14日(月)~
2月28日(月)必着

【注1】 SNS企画の詳細は、JAしまねHPにて掲載しておりますので、そちらをご覧ください。
※商品の仕入状況により、発送が遅れる可能性があります。 ※お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。
※選考方法、応募の確認、抽選結果についてのご質問、お問い合わせにはお答えできません。あらかじめご了承ください。
※当選者の長期不在や住所入力間違いなど、何らかの理由で商品がJAへ戻ってきた場合、当選を無効とし、商品の再発送は行いません。

topics 1 島根米の更なる消費拡大・販売促進へ 「島根米」新TVCMが完成しました!! 12  15 

「島根米」の消費拡大と販売促進を目的とした新TVCMが完成しました!!
 今回は島根県出身の女優、田中美佐子さんと丸山達也島根県知事に出演いただき、お二人に「島根米」の魅力を語っていただくという内容となっています。
 撮影は12月4日に行われ、東京で暮らす田中美佐子さんが毎日の食のこだわり「島根米」について、丸山達也県知事がふるさと自慢の一つである「島根米」について、実際に「島根米」を食べながら想いを語っていただきました。
 新TVCMは、BSテレビの「生たまごBang!」で放送中です。他にもJ Aしまね公式YouTubeにアップしています。囲炉裏を囲みながらの撮影で、どこか懐かしさのあるTVCMとなっておりますので、ぜひご覧ください。
 また、撮影当日には田中美佐子さんと丸山達也県知事に「つや姫」を贈呈し、島根米をPRしました。



田中美佐子さん（右から2人目）と丸山達也県知事（右から3人目）に「つや姫」を贈呈

topics 2 県青協がJ Aしまね役職員との意見交換会開催 8  12 

島根県農協青年組織協議会とJ Aしまねは12月17日、松江市で意見交換会を開きました。J A役職員や同協議会、各地区本部の青年連盟ら43人が出席し、担い手育成と所得向上の2テーマに分かれ、日頃の営農活動での思いを伝えるなど、活発に意見を交わしました。
 会では、盟友らが米価下落や販路拡大、営農指導の統一化、労働力確保など効果的な対策を要望しました。また、東西に長い地理を活かしたりレー出荷の提案など、地区本部の枠を越えた農業振興についても意見を交わし、J Aは「メロンやトマトなどのりレー出荷に取り組んでいる。営農指導や物流など各関連部署と連携し進めていきたい」と回答しました。
 同協議会の草野拓志会長は「J Aと青年部がしっかり協力しあい、新しい時代に進んでいける農業の実現を目指していきたい」と話しました。



意見に答える石川組合長（右から3人目）



意見・要望を伝える草野会長（中央）

topics 3 島根県産米や冬野菜の美味しさを発信! 松江エクセルホテル東急×J Aしまね 12 

J Aしまねと松江エクセルホテル東急は、松江市の同ホテルで、「クリスマススイーツ&お米・冬野菜料理フェア」を12月11、12日の2日間限定で開催しました。コロナ対策のもと、2日間で240の方々に楽しんでいただきました。
 2019年から開始した同ホテルとのタイアップは「島根ぶどう」から始まり、西条柿やアールスメロンなど、年々品目を増加し企画しています。今回は初めて県産米「きぬむすめ」とのタイアップが実現し、J Aから「きぬむすめ」や県産米の米粉、富有柿、県オリジナル野菜「あすっこ」、白ネギ、ブロッコリー、カリフラワー、キャベツを提供。当日は「ライスつくねバーガー」「米粉入りバンズのハンバーガー」、あすっこや白ネギ、カリフラワーをたっぷり使用した「冬野菜のピザ」などの料理が並びました。
 会場内には、提供した品目の販促ポスターなどを掲示し、来場者に県産品をPR。企画を担当したJ A本店米穀課の福田職員は「消費拡大につながるありがたい企画。今後も継続的に企画し、島根米の美味しさを広めていきたい」と話しました。
 毎回好評のタイアップ企画は、現在、県産イチゴを使用したスイーツフェアの開催を計画。今後も県産品の消費拡大・PRに向け、楽しい企画を計画していきます。



県産品をPR



提供した米や冬野菜をふんだんに使用した料理

総代代表者らとの意見交換会を実施 ウェブ形式で活発に意見を交わす

JAしまねは12月3日、総代代表者らとの意見交換会を開きました。ウェブ形式で開催し、各地区本部の総代代表者ら26人が参加。JA役員が上期事業概況や次期中期経営計画、事業改革の進捗状況などを報告しながら、総代代表者と活発に意見を交わしました。

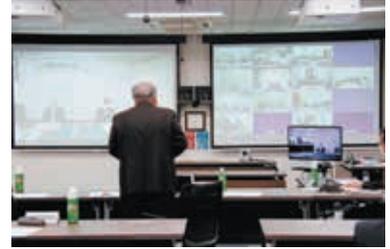
意見交換会では、総代代表者が米価下落対策による農家支援や園芸関連施設の拠点集約化に伴う集荷運賃の負担軽減などを要望。また、生産振興と消費者理解につながる情報発信を求めたほか、事業所の再編によるサービス低下や組合員離れを危惧する声も上がりました。

石川寿樹組合長は「早め早めに事業改革を進め、組合員の理解を得ながらしっかりと取り組んでいきたい」と話しました。

当JAでは、JA運営に関する概況を伝え、組合員の意見や要望を聞きとり、経営に反映させようと、年に2回意見交換会を開催しています。(今年度1回目は6月に開催)



意見に答える石川組合長



意見交換会はウェブ形式で開催

子ども達に牛乳を 子ども食堂などへ牛乳を寄贈

JAしまねが会員でもあり、中国地域5県の酪農家から生産される生乳を乳業会社へ販売する中国生乳販売農業協同組合連合会は、県内の子ども食堂とフードバンクしまね「あったか元気便」に、賞味期限が長いロングライフ(LL)牛乳を寄贈しました。子ども食堂を運営している県内13の団体と、同フードバンクを通じて275世帯に合計1万4520本の牛乳を提供しました。

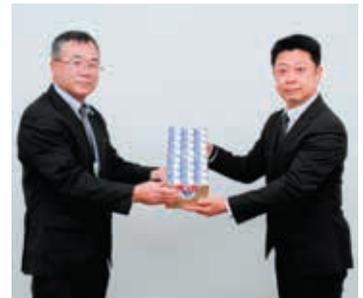


あったか元気便の春日代表(右)へ目録を手渡す元根部長

LL牛乳は、コロナ禍の中、需給緩和の影響を受け、同連合会が中国5県から集乳し製造。同連合会の会員である各県がLL牛乳を活用した消費拡大企画を行う中、JAしまねは「多くの子ども達に牛乳を飲んでほしい」と、県内の子ども食堂と同フードバンクへの寄贈を決めました。

1月12、14日に贈呈式を行い、12日に出雲市で活動する「高松ひまわり食堂」の飯塚正明代表に牛乳を、14日には同フードバンクの春日邦宣代表へ目録をJA本店畜産部の元根正規部長が手渡しました。

飯塚代表は「お弁当は栄養士がバランスを考えて作っている。プラス牛乳で子どもお母さんも喜ぶ」と話し、春日代表は「育ち盛りの子供達への素晴らしい贈り物をありがとうございます」と話しました。



高松ひまわり食堂の飯塚代表(右)へ牛乳を手渡す元根部長

直売所出荷までのコツとポイントを押さえたDVD完成!

JAしまねが関係機関と連携し、JA直売所出荷者向けに制作していたDVDがこの度完成しました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で集合研修がしづらい中でも、出荷者が直売所で販売する農産物の品質向上や、安心・安全な商品提供、また農業所得の増大に向けたサポート活動を継続し、出荷者の意欲向上につなげることをねらいとしています。

内容は、「栽培指導篇」「商品づくり篇」「美味しまね認証篇」「加工品の衛生管理・食品表示篇」の4篇で構成。「栽培指導篇」では、農業のプロが農産物の栽培方法について実演を交えながら分かりやすくポイントを解説。「商品づくり篇」では、直売所へ出荷するための商品の包装方法・基礎知識や実際に出荷者が出演し、独自の技術やこだわりポイント等を紹介しています。また「美味しまね認証篇」と「加工品の衛生管理・食品表示篇」では、島根県の担当者が事例を交えながら丁寧に解説。それぞれ出荷者も登場し、取り組みについて紹介しています。

担当したJA本店販売戦略室の須山一室長は「産直活動は生産者の利益になるだけでなく、地域農業を振興し、地域社会に新たな雇用と賑わいを創り出している。このDVDを視聴していただき、更なる生産意欲向上に繋がることを期待している」と話しました。



完成したDVD

輝く50万パワー☆ しまねの女性部！

石見銀山女性部

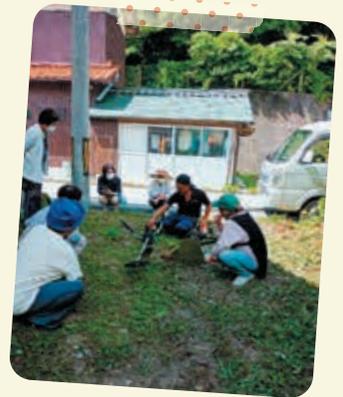
地域のみなさんや、
女性部員が元気になる
楽しい活動を行っています

石見銀山女性部は、大田市にある13の支部378名で、活動をしています。

今年度も次世代を担う子どもたちに地元で採れるものを知り、おいしく食べてほしいという思いで、丁寧に皮むきをしたフキ、サトイモ、栽培したかぼちゃを学校給食へ提供しています。

また、新たな取り組みとして、部員からの要望によりJAの農業機械課職員を講師に迎え、草刈り機の正しい使い方等の講習会を行いました。その他、クリスマス時期に合わせ、クリスマスケーキ作りを行い、思い思いに飾りつけをしたケーキを各自が持ち帰り家族で美味しくいただきました。

私たち石見銀山女性部は、これからも地域を元気にする活動を行い、コロナ禍の中、思うような活動ができていない時期もありましたが、今後はそれぞれで感染対策をとりながら、できることから活動をしていきます。



一所懸命青年連盟

JAしまねやすぎ青年連盟

地産地消に取り組み、
農業を通じて、
地域に貢献していきたい

JA YOUTH

えんどう のぶひこ
遠藤 暢彦さん



JAしまねやすぎ青年連盟（以下、農青連）に加入している遠藤暢彦さん（44）。子どものころからものづくりが好きで、建物の設計という形で夢を叶えましたが、40歳を前にもう一度自問し「自分の手の中から生まれるものづくりに向き合いたい」という素直な気持ちから就農を決意。安来独自の就農パッケージ制度や先輩1ターン者の存在、安来のいちごの美味しさが決め手となり、広島県から1ターンしました。

昨年9月に高設栽培のハウス2棟で独立就農をスタート。減農薬・天敵利用など環境負荷が少ない栽培方法や温度センサーなどのスマート農業を導入し、省力的かつ効率的な管理体制を構築しています。今期は8品種のいちごを栽培し、多品種による収益化を目指しています。

農青連には同じ作型の先輩盟友が多く、経験の共有が日々の生産活動に役立っています。いちご以外を栽培する盟友からも、新たな情報を得ることができ、農青連を通じて良い刺激を受けています。

美味しい！と喜んでもらえるものを自分の手で作れることにやりがいを感じる遠藤さん。「一人でも多くの方に安来のいちごを知ってもらい、食べてもらえる機会を創出したい」と意気込みを語りました。



あなたもチャレンジ! 家庭菜園

ルバーブ

香気と酸味のあるジャムを楽しむ

ルバーブは特有の香気と酸味のある葉柄を利用する永年性の野菜です。太くて多汁質の葉柄は、ジャム、パイなどに利用しますが、葉身にはシュウ酸が多く含まれるので食用にできません。和名は食用大黄といい、漢方薬のダイオウと同属の植物で、原産地はロシア南東部からシベリア南部とされ、冷涼な気候を好みます。

品種

世界的には数十品種ほど栽培されていますが、「ビクトリア」(藤田種子など)は草勢が強く収量の多い品種です。

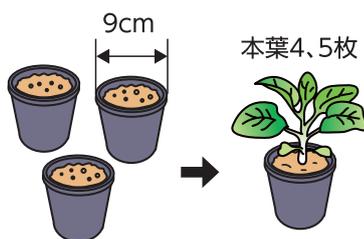
育苗

幼苗期の除草作業などを考慮して育苗するとよく、ハウスを利用し、2、3月に3寸ポットに4、5粒の種をまきます。その後間引きをして1本立ちにし、5月ごろまでに本葉4、5枚の苗に仕上げます(図1)。

畑の準備

植え付け2週間前に1平方m当たり苦土石灰200gを全面にまいて、よく耕しておきます。植え付け溝は畝幅120cmとし、幅20cm、深さ20cmに掘り下げます。元肥は溝1m当たり堆肥を2kg、化成肥料(NPK各成分10%)100g程度を施し、土を戻します(図2)。

図1 育苗



植え付け・追肥

大型野菜のため、株間を60cm程度に取り、苗を植え付けます(図3)。植え付けの年は、夏の初めと終わりに、溝を切って畝1m当たり化成肥料50gを与えます。翌年からは、冬(萌芽くぼうが)前に畝1m当たり堆肥1kgと化成肥料100gを施用し、その後は初年度と同様に追肥をします。

収穫

初年度は収穫しないで、2年目から収穫を始めます。収穫法は30~50cmに伸びた葉柄を基部より手でかき取り、葉身は切り捨てます(図4)。一度に採葉し過ぎないように、次回は1、2週間後に収穫します。収穫期は5、6月で、収穫期間は2カ月程度にとどめておきます。

その他の管理

越冬した株が早春に萌芽し、その後、花茎の伸長(とう立ち)が始まりますが、開花・結実するとその後の生育が悪いため、花茎は早めに手で除去します。敷きわらは、泥はねを防ぎ、盛夏の干ばつ対策になります。なお、5、6年たつと草勢が衰えてくるので、植え替えをします。萌芽前の冬に掘り上げ、切り離す株に芽が付くように縦に切断し、株分けをします。

図3 植え付け

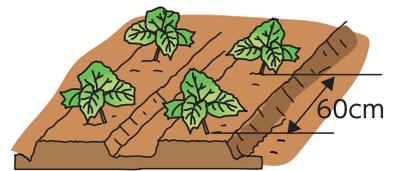
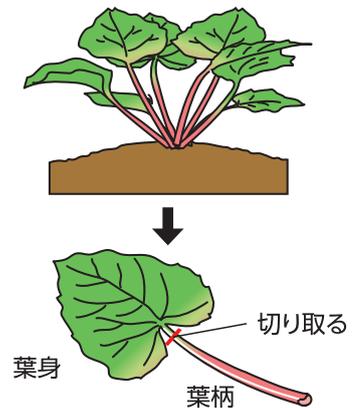


図4 収穫



園芸研究家 成松 次郎

※関東南部以西の平たん地を基準に記事を作成しています。

理事会情報 (12月22日開催)

【協議事項】

- ①令和3年度補助事業の実施について
- ②第3次農業戦略実践3ヵ年営農計画の策定について
- ③令和3年産島根米生産者経営継続支援の実施について
- ④令和3年産島根米の追加金単価について
- ⑤信用事業方法書(為替取引)の一部改正について
- ⑥第3次中期経営計画の概要説明資料について

- ⑦賤称語記載問題に関する「事象総括書」の提出について
- ⑧大口貸出について
- ⑨雲南地区本部「訪問介護事業」「指定障がい福祉サービス事業」の廃止・事業譲渡および運営規程等の廃止について

(紙幅の関係上、報告事項は省略いたします)

冬にはやっぱり 白ネギ

やすぎ白ネギ生産部会は、昨年11月中旬に、今年度の共選出荷を始めました。同部会は20名の生産者が約2haで栽培し、今年度は、出荷量約35トン、販売高約1,000万円を目標に取り組みます。

昨年夏に豪雨や台風による浸水や暴風被害があり、例年になく栽培管理の難しい年となりましたが、生産者の皆さんの徹底した管理により前年より1週間程度早く高品質な白ネギの初出荷をする事が出来ました。年明け以降は低温が続いているため、さらに甘味が増して上々の仕上がりと なっています。

収穫された白ネギはやすぎ地区本部の下坂田集荷所に持ち込まれ、松江市の卸売市場である松江合同青果(株)を経由し、県東部を中心にスーパーを運営する株式会社みしまやに出荷しています。安来市内のJA直売所にも並び、鍋の季節には欠かせない食材として消費者からの需要も高いです。

また、部会員の約半数が「しまねエコ農産物」ガイドラインに沿った栽培法に取り組み「エコ白ネギ」として販売しています。慣行栽培に比べて節減対象農薬の使用回数と化学肥料の窒素成分量を同県基準の半分以下とした、環境にやさしい栽培が特長です。

JA担当者は「安来の白ネギは有機質肥料をたっぷり使用し、ゆっくり、じっくりと育てられている。とても柔らかく、甘みがあるので特徴なので、ぜひ一度食べてみてほしい」と話しました。



やすぎのいちご 出荷本格化

やすぎ苺部会は、昨年11月上旬より今年度の共選出荷を始めました。収穫された苺は、やすぎ地区本部の下坂田集荷所に持ち込まれ、JA直売所や山陰両県の5市場へ来年5月末まで出荷されます。同部会は67戸の農家が645アールで栽培しており、今年度は「紅ほっぺ」92.5トン、「章姫」39.8トン、「かおり野」18.5トン、共選販売高1億9,470万円を目標に取り組みます。

昨年は8月中旬の低温と秋の高温の影響で例年より生育が1週間程度早くなっていますが、味は甘く仕上がっています。

JA苺担当の黒田真一係長は「甘くて美味しいやすぎのいちごを、ぜひ味わっていただきたい」と話しました。



JA直売所で初売り!



やすぎ地区本部の各直売所では、1月3日になかうみ菜彩館が、6日にグリーンセンターひろせ店とグリーンセンター

はしま店が、2022年の初売りを行いました。各直売所では、特産品のイチゴや梨、鍋物野菜の白ネギや大根、シイタケ等がところせましと並びました。1月9日には道の駅あらエッサ内の各店舗が協力し、イチゴ、海産物、お買物券などが入った福袋を税込1,000円で販売しました。30袋限定の福袋は大好評で販売開始から10分で完売しました。購入された方は「この値段でこんなに入っていて、とてもお得ですね」と話しました。

JA担当者は「本年も新鮮で良質な安来産の農畜産物を取り揃えていますので、ぜひ多くの方にご来店いただきたい」と期待を込めました。



情報科学高校生 なかうみ菜彩館で販売体験



島根県立情報科学高校の生徒8名は12月21日になかうみ菜彩館で、やすぎブランド開発プロジェクト開発商品の販売体験をおこないました。同プロジェクトは学校と地元企業が連携して商品開発・マーケティング・販売を行い、地方創生につなげる取り組みです。当日は開発商品の「まさげなおからクッキー」をPRするため、お客様への声掛けやチラシ配布、商品説明を積極的に行い、商品の売れ行きも好調でした。

体験した生徒は「販売体験を重ねていくうちに声掛けや説明も自信がついてきました」と話しました。同プロジェクトの協力企業である有限会社角久の角様は「この開発商品は継続的に販売を続けていきたい」と意気込んでおられました。

体験した生徒は「販売体験を重ねていくうちに声掛けや説明も自信がついてきました」と話しました。同プロジェクトの協力企業である有限会社角久の角様は「この開発商品は継続的に販売を続けていきたい」と意気込んでおられました。



安来の元気な子ども達を紹介します！

MIRAI
KIDS

未来の 主役 たち

はるた
矢田陽太くん(4さい)
かなた
奏多くん(3さい)
ゆな
唯菜ちゃん(5カ月)



陽太くんは穏やかな性格でしっかり者のお兄ちゃん。保育園で女の子に人気があるそうで、2年間片思いしている女の子がいるみたい。最近ひらがなを勉強していて、お母さんのお買物リストを書いてお手伝いしているよ。将来はお医者さんになりたいみたい。

奏多くんはみんなを笑わせることが好きで、家族のムードメーカー的存在。お兄ちゃんに憧れていて、陽太くんが目標なんだって。好き嫌いがなく何でも食べてくれるよ。風船あそびがお気に入りです。将来警察官になりたいんだって。

ふたりはお母さんが作るチキンカツがだい好き。パワーになるんだね。

唯菜ちゃんは去年生まれたばかりの女の子。みんなから大切にされていて、特にお父さんはメロメロなんだとか。おとなしい性格で、夜もよく寝てくれてお母さんはとっても助かってるみたい。

コロナが落ち着いたら大好きな仮面ライダーのイベントで京都の映画村に行きたいんだって。早く行けるといいね。

～お父さん・お母さんより～

これからも3人仲良く元気にすごしてね。いつもありがとう。

コロナが落ち着いたら色々な所へ遊びにいこうね。

SDGs

Health

基本話し方に残る心の特集

お助けの「だいじょうぶ」

松たか子、藤原の、フライドポテト、アイロンがけの、塩黒

Handmade

vegetable garden

食品ロスを減らす方法を

cooking

“Ienohikari”
家の光 でイエナカ活動も
楽しく! 豊かに!!

定価(税込) ●普通月号 629円 ●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円 ●家計簿付き12月号 1,027円

記事と関連した動画を配信中。最新の動画は誌面の2次元コードから!

やすぎ福祉サービスセンターの事業廃止について

J Aしまねやすぎ地区本部は、J Aしまねの事業方針に基づき本年2月末をもちまして「やすぎ福祉サービスセンター」を廃止することといたしました。

長年にわたり当福祉サービスセンターをご利用いただきました皆様、そして、事業運営を支えていただきました関係機関、組合員、地域の皆様に対し、心から感謝申し上げます。

当福祉サービスセンターは、平成15年より訪問介護事業、居宅介護支援事業、通所介護事業に順次取り組み、平成30年にはデイサービスセンターふれあいを改修し、「誠心誠意」の理念のもと地域の利用者の皆様へのサービス内容の充実と向上に努めてきました。

しかしながら、農協改革のもと農業関連事業の一層の充実とJ A経営の安定化が求められるなか、将来的な人口動向や事業見通し等を総合的に判断し介護福祉事業からの撤退をすることとなりました。皆様には、ご不便をおかけすることとなりますが、ご理解を頂きますようお願い申し上げます。

尚、当福祉サービスセンターの廃止後は、当施設を活用される事業者において介護福祉サービスが提供されますので、引続きご利用いただきますようお願い申し上げます。

J Aしまねやすぎ地区本部

常務理事本部長 伊藤 精一



2022春期 農機展示会 開催中止のお知らせ

平素よりJAしまねやすぎ地区本部をご利用いただき、誠にありがとうございます。
さて、未だ猛威を振るう新型コロナウイルスの影響を踏まえ、2月25日・26日に予定していまし
た「2022春期 農機展示会」を中止することにいたしました。何卒ご理解をお願いいたします。

期間限定(2月末まで)

トラクター
耕耘爪 **20% OFF**
(太陽の爪)

ご注文の際は、トラクターと
ロータリーの型式をご連絡ください。

連絡先 やすぎ農機センター
電話 22-6900

税務相談会日程

- 安来東支店 3月2日(水)10時~12時
- 伯太支店 3月2日(水)13時30分~15時30分
- 広瀬支店 3月11日(金)10時~12時

3月の外務日は

16日(水)・17日(木)

担当職員がお伺いします。



市況動向

島根中央子牛市場
(単位:円・頭)

種別区分	地区区分	安来地区	伯太地区	広瀬地区	地区平均	中央市場
雌	平均価格	753,683	783,200	655,160	715,092	698,141
	頭数	6	1	5	12	92
	最高価格	836,000	783,200	885,500	885,500	1,185,800
又キ	平均価格	802,843	800,250	781,000	795,369	801,146
	頭数	7	4	5	16	127
	最高価格	881,100	834,900	972,400	972,400	1,128,600
総平均価格		780,154	796,840	718,080	760,964	757,875
合計頭数		13	5	10	28	219

1月子牛市場県外移出頭数

	山口県	滋賀県	宮崎県	三重県	兵庫県	佐賀県	和歌山県	その他	合計	県外移出率
雌	36	34	6	10	3	5	8	12	114	62.64%
去	37	11	23	0	6	4	0	7	88	39.46%
合計	73	45	29	10	9	9	8	19	202	49.88%

肥育センター5等級評価牛(1月出荷分)

血統	種別	枝重	格付	BMS	備考
寿恵高福-茂重桜-糸貞福-糸晴波	去勢	421.8kg	A5	10	
愛之國-美津照重-茂重桜-糸晴波	去勢	499.3kg	A5	11	
美津照重-照美-第7福桜-藤桜	去勢	526kg	A5	10	

全国“反落”本県西部“反発”中央“弱気配”の取り引き

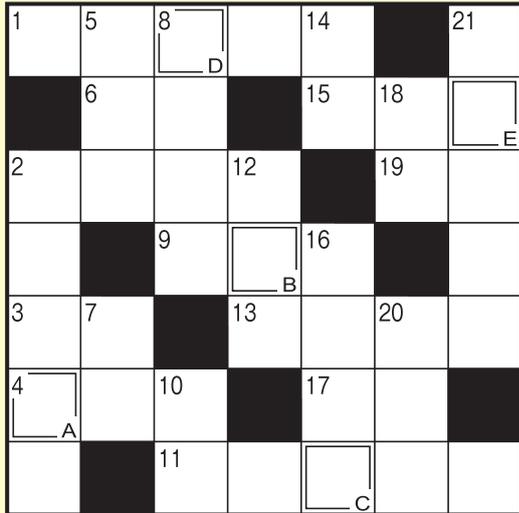
令和4年1月の全国主要子牛市場平均価格(全農・畜産生産部1月21日現在速報)は雌687千円(前月比96%)、去勢797千円(前月比99%)と“反落”の取引となっています。本県1月の子牛市場は西部・中央で開設し379頭の取引があり、平均価格は西部市場は693千円(前回比25千円高)で“反発”、中央市場は758千円(前回比4千円安)で“弱気配”の取引となりました。

西部の上場牛については、一部ばらつきがありました。概ね順調に仕上がっていました。中央については雌、去勢ともにばらつきのある牛、D・Gが1kg以下の牛も多く見られました。枝肉相場では、コロナの影響と年明け閑散期で動きは非常に悪くなっています。しばらくは動きを加速させる要因は乏しく仕入れを抑える傾向も見られます。今状況で食肉販売・小売業者にとって販売不振による厳しい状況は変わりません。畜産農家・関係団体と一体となり、この難局を乗り切りましょう。このような時こそ、飼養頭数の維持・拡大および後継者づくりに取り組み、購買者に来て頂けるよう上場頭数の確保に努めましょう。



二重マスの文字をA~Eの順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

出題●ニコリ



答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ②千客万来を願って飾る、動物の置物
- ⑤野球のチームをプレー人数からこういうこともあります
- ⑦大豆にはタンパク——が豊富に含まれます
- ⑧まつげに塗る化粧品
- ⑩坂本龍馬の出身藩
- ⑫エチルアルコールの——点は13度です
- ⑭地球表面のおよそ3割
- ⑯誇りや自尊心を意味する片仮名語
- ⑰競馬場ではラチともいいます
- ⑱ラグビーが盛んなポリネシアの王国
- ⑳母校から巣立ちます。——式、——アルバム

ヨコのカギ

- ①桃の節句に行う行事
- ②東京のソメイヨシノは3月末ごろ——になることが多いです
- ③唱歌『春の小川』でスマレやレンゲが咲いている場所
- ④イチゴ畑に防鳥——を張った
- ⑥腰を掛ける家具
- ⑨アラジンがこすると精霊が出てきました
- ⑪木枯し紋次郎がかぶっています
- ⑬甘い物よりお酒が好きです
- ⑮湯畑が有名な群馬県の温泉地
- ⑰忍者が指を組んで結ぶもの
- ⑱金づちで打ちます

応募要項

●応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。

●賞品

正解者の中から抽選で40名（J A しまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

●当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

●宛先・締切

〒692-0014 安来市飯島町1205-1
J A しまね やすぎ地区本部 総務課 「クイズ」係
2022年3月4日（金）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆

「キサラギ」



川柳の広場

最優秀賞

蓑虫のかたちで春を待つ自粛

出雲市 北村 功様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

優秀賞

幾山河越えた手足が痛みだす

出雲市 堀江 英子様

野辺送り隣保も皆んな高齢者

安来市 斎藤美重子様

宍道湖の鮎の料理が待つ帰省

出雲市 大福 利彦様

佳作

頑張れと腰たいたりさすったり
マスクしてみんな仲良くなるを越す
耐えただけ春は沢山花笑う
手も口も労わり合って来た仲間
内緒だと聞いた話がそこかしこ

出雲市 柳井 伸幸様
浜田市 前田 隆行様
出雲市 小豆沢歌子様
出雲市 小白金房子様
浜田市 岩本 静代様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」3月号 定価629円（ご購入は、お近くのJAへお問合せください）。



J A しまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）3月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法

俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。
※応募作品の一切の権利は、J A しまねに帰属するものとします。
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先

〒690-0887 松江市殿町19-1
J A しまね ふれあい福祉課
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」
F A X : 0852-67-7708
Eメール: fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。



・お預かりした個人情報は、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。

手数料変更のお知らせ

いつもJAしまねをご利用いただき、誠にありがとうございます。

令和4年4月1日(金)から、ATMおよび個人ネットバンクによる振込手数料(他行あて)を引下げさせていただきます。

当JAでは今後とも、組合員・地域利用者の皆さまにご満足いただき信頼される地域金融機関として、サービスの充実を図ってまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

変更内容

◆為替手数料(1件あたり/消費税含む)

種類	お支払方法	振込金額	当JAあて		系統金融機関・JFあて	他行あて
			同一店舗内あて	他店舗あて		
振込手数料	ATM	JA・JFキャッシュカードによる振込	5万円未満	無料	110円	385円
			5万円以上		330円	550円
		JA・JF以外のキャッシュカードによる振込	5万円未満	220円	330円	605円
			5万円以上	440円	550円	770円
	現金	5万円未満	無料	220円	495円	
		5万円以上		440円	660円	
	窓口(電信・文書)	貯金口座からの振替	5万円未満	110円	330円	550円
			5万円以上	330円	550円	770円
		現金	5万円未満	330円	550円	770円
			5万円以上	550円	770円	990円
ファームバンキング・JAデータ伝送サービス	5万円未満	無料	110円	220円		
	5万円以上			275円		
個人ネットバンク	5万円未満	無料	110円	165円		
	5万円以上					
法人ネットバンク	振込	5万円未満	無料	110円	220円	
		5万円以上		330円	440円	
	総合振込	5万円未満		110円	220円	
		5万円以上		330円	440円	
	給与・賞与振込	5万円未満		無料		
		5万円以上		無料		
自動送金	5万円未満	無料	110円	330円		
	5万円以上		330円	550円		

※手数料については、店頭もしくは、JAしまねホームページ掲載の「信用手数料一覧」でもご確認ください。JAしまね

正解発表!!

『家の光』12月号 クイズキャンペーン

全問正解の応募者の中から、抽選で30名様に2,000円分の農協全国商品券を進呈!

Q1 「12月号の表紙の人は誰？」

① 氷川きよし ② 工藤阿須加 ③ 沢口靖子

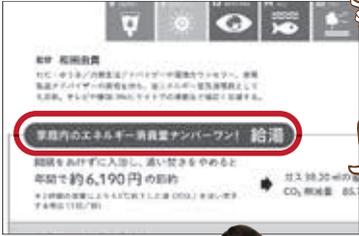


正解は...
① 氷川きよしさん



Q2 「家庭のエネルギー消費量ナンバーワンは？」

① 暖房 ② 給湯 ③ ガソリン



正解は...
② 給湯



Q3 「在宅の場合の平均月額介護費は？」

① 12,000円 ② 46,000円 ③ 88,000円

ヒントは「別冊付録 わたしノート」15ページ

正解は...
② 46,000円





ご購読はお近くのJAへお問合せください!!



応募総数 306名 正解者数 245名

たくさんのご応募ありがとうございました

当選者の発表は商品券の発送をもってかえさせていただきます。令和4年3月上旬発送予定!

※キャンペーン応募は令和4年1月31日(月)で終了しています。



現代版飛鳥鍋めはカルボナーラ



- *コメント***
- ・仕上げに牛乳と味噌を加えるだけでコクが深まり、栄養もさらにアップします。
 - ・牛乳は沸騰すると分離してしまうので、弱火にして煮立てず、温める程度で。
- *アレンジ***
- ・具材は牡蠣、タラ、鮭、豚肉、白菜、大根、南瓜、玉ねぎ、春菊などなんでも合います。(魚を入れる時は、一度下茹ですると生臭みとアクが取れます)
 - ・メはご飯を入れて雑炊(リハット風)にも。それが残ればチーズをかけて焼くとドリア風に。

材料 (4人分)

- 鶏モモ肉…… 1枚 (250g)
- 塩こしょう…… 少々
- ウィンナー…… 6本
- キャベツ…… 500g (1/4玉)
- じゃが芋…… 2個
- しいたけ…… 4枚
- 人参…… 1本
- ブロッコリー…… 1株
- ミニトマト…… 4個
- あすっこ…… 1袋
- 水…… 800cc
- コンソメ…… 3個
- 牛乳…… 800cc
- 白味噌…… 大さじ2
- 粗挽きこしょう…… 適量 (カルボナーラ)
- 冷凍うどん…… 2玉
- 卵…… 2個
- ピザ用チーズ…… 40g

作り方

- 【下ごしらえ】**
- ①鶏モモ肉は一口大に切り、塩こしょうを軽く振り、下味をつける。
 - ②キャベツの軸はつけたまま、大きめにざく切りする。
 - ③じゃが芋は皮ははぎ、縦半分切って1cm幅の半月切りにする。
 - ④人参はピーラー(皮はぎ器)で細長いリボン状にする。
 - ⑤ブロッコリーは色よく下茹でする。
 - ⑥ミニトマトは額を取る。
 - ⑦あすっこは3等分に切る。

【作り方】

- ①鍋に分量の水とコンソメ、キャベツ、じゃが芋、しいたけを入れ、火にかける。
 - ②じゃが芋が軟らかくなったら、鶏モモ肉、人参を加えて火を通す。
 - ③牛乳を別の鍋で温め、白味噌を溶かす。(沸騰しないよう注意!)
 - ④最後に残りの具材と③の牛乳を鍋に入れ、温まったら大きく混ぜて、器に盛り、お好みで粗挽きこしょうを振りかけたら完成。
- 【カルボナーラ】**
- ①冷凍うどんを鍋に入れ火にかけ、ほぐれたらピザ用チーズを加えて溶かす。
 - ②火を止めて、溶き卵を加えて直ぐによく混ぜたら完成。

材料 (4人分)

- A
- 牛乳…… 300cc
 - 片栗粉…… 60g
 - 砂糖…… 大さじ2 (トッピング)
- B
- きな粉…… 20g
 - 砂糖…… 20g
 - 塩…… 適量
 - いちご…… 4個
 - ゆで小豆…… 適量
 - ミント…… 適量

作り方

- ①鍋にAの材料を入れ、よく混ぜる。
- ②木べらで常にかき混ぜながら強火にかけ、塊ができてきたら弱火にして餅状になるまでよく混ぜて火を通す。(焦げないように底からしっかり混ぜる)
- ③水をたっぷり入れたポウルの中に②を一塊にして落とす。
- ④好みの大きさに手で切って器に盛る。
- ⑤Bを混ぜ、トッピング材料を飾ったら完成。

ミルク餅



- *コメント***
- ・調理時間10分!直ぐに食べられる、お手軽デザートです!
 - ・温かいままでも、冷たくなってもいつまでも軟らかな和風デザートです。
- *アレンジ***
- ・お椀に入れて、溶かしたあんこをかければお汁粉も楽しめます。
 - ・きな粉をまぶせばきな粉餅風に、みたらしあんをかければみたらし風に。黒蜜をかけたも美味しいです。
 - ・フルーツ缶詰めやフルーツジュースと一緒にすればフルーツポンチ風にもなります。

健康散歩 がん検診を受けましょう

JA島根厚生連

毎年2月4日は「世界対がんデー」です。がんに対する意識向上と予防、検出、治療への取り組みを促すために定められた記念日で、それにちなんで今回のテーマは「がん検診」です。

日本人が一生のうちがんと診断される割合は男女とも2人に1人と言われており、がんで死亡する割合は男性が4人に1人、女性は6人に1人と言われています*。がんの罹患率は高齢化の影響もあり1985年以降増え続けているのに対し、がんの年齢調整死亡率は1995年以降順調に下がり続けています。日本のがんの治療成績の向上が示唆されており、がん検診による早期発見もこの一翼を担っていると考えます。

下表に、がん罹患患者数の順位(2018年)とがん検診受診率【%】を示しています。

がん罹患患者数の順位 (2018年)

	1位	2位	3位	4位
総数(全国)	大腸	胃	肺	乳房

がん検診受診率【%】

	大腸	胃	肺	乳房
がん検診受診率(全国)	44.2	48.8	49.4	47.4
がん検診受診率(島根)	49.4	52.8	56.9	43.7

国立がん情報センターがん情報サービス 最新がん統計より

「都道府県別がん検診の受診率(2019(令和元)年国民生活基礎調査)より

*「国立がん情報センターがん情報サービス 最新がん統計」より

【編集後記】 オミクロン株の感染拡大により、外出大好き!な私は、おうち時間を楽しむ方法を模索中です。普段やらないこと…料理…?と考えているときに、今回の牛乳乳製品🥛特集。うれしびでも牛乳を使用したレシピを考えていただきました。私にもできそう…🥰とイメトレは完璧ですが…。この機会にぜひ牛乳乳製品🥛を飲んで!食べて!使って!いただけると嬉しいです。(安)